

集いの場

醤油屋を営んでいた店を閉めることになり、「シャッターを閉めたままにしておくのは、地域の明かりが減って、寂しくなるなあ…。」という一言から、空き店舗を利用して集いの場を作ることになりました。

語らん場で醤油屋さん閉店の情報をキャッチ

醤油屋さんを営んでいたのは、民生委員さん

公民館

道路

交通量多く、危ない！

元醤油屋さん

生活支援コーディネーター（SC）が、語らん場で出されている意見を報告

- ・公民館はあるが、自由には使えない。
- ・公民館へ行くまでの道路横断が心配。

SCより「（醤油屋さんの店舗）を集いの場にするのはどうでしょうか」と提案

- ・「シャッターを閉めたままにしておくのは、地域の明かりが減って、寂しくなる」「少しでも地域のためになるなら」と承諾を得る。



民生委員、自治会長、老人クラブ会長が集まり相談。

「どんな集いの場にしていこうか？」



集いの場開設へ向けて、環境を整える

民生委員と町内役員のご主人、自治会長、老人クラブ会長で、椅子を作ったり、使っていないテレビ、冷蔵庫、テーブル（卓球台！！）を持ち寄る

SCが定期的に情報交換

町の役員や老人クラブ会長が集まる場所に

公民館の使用手続きをするよりも、気軽に集まれる！

（民生委員が）家に居るときには、シャッターを開けて、誰でも行ける集いの場へ

口コミで広がり、他町の方が見に来ることも！

今はもっと気軽に入ってもらうために、看板作りを検討中です。ぜひお気軽にお立ち寄りください

